



報道関係各位

2011年2月吉日
緑内障フレンド・ネットワーク

3月6日～12日は“世界緑内障週間”
名古屋市で緑内障啓発イベントを開催
無料視野チェック、患者会員・眼科専門医による無料相談など実施-

日時：2011年3月11日(金)・12日(土) 10:00～18:00
場所：セントラルパーク内「パークスクエア」

緑内障の啓発活動を行う患者組織、緑内障フレンド・ネットワーク(代表：柿澤映子 会員数：1,600名)は、緑内障による失明者を減らすことを目的に世界各国で行う「世界緑内障週間」の啓発活動の一環として、3月11日(金)と12日(土)の2日間、名古屋市セントラルパーク内「パークスクエア」にて、一般の方を対象に緑内障啓発イベントを開催いたします。

「世界緑内障週間」は、世界各国の緑内障学会が加盟する世界緑内障協会(WGA: World Glaucoma Association)と、当組織も参加する世界緑内障患者協会(WGPA: World Glaucoma Patient Association)が、緑内障による失明者を減らすことを目的に各国で啓発活動を行うもので、2008年より毎年3月に行われています。この活動の一環で、この度、愛知県眼科医会様のご協力を賜り、名古屋市での啓発イベント開催の運びとなりました。

40歳以上の日本人20人に1人が発症していると言われる緑内障は、視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていく疾患です。治療をせず放置すると失明する危険性があるにも関わらず、初期の自覚症状がほとんどないため、発見が遅れがちです。日本では約8割から9割の患者が未受診と推定されており、失明を未然に防ぐためには、早期発見・早期治療が大変重要です。

本イベントは、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につながるよう開催するものです。当日は、専用機器やPCを用いた視野チェック、視野狭窄メガネを着用してのパターゴルフ等の体験コーナー、患者会員や眼科専門医による相談会などを予定しています。

報道関係の皆様におかれましては、ぜひ本イベントの趣旨をご理解いただき、告知にご協力いただくとともに、当日のご取材をご検討いただけますと幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

日 時： 2011年3月11日(金)・12日(土) 10:00～18:00
場 所： セントラルパーク内「パークスクエア」(名古屋市中区錦3-15-13先)
対 象： 一般
内 容： 緑内障簡易視野チェック
視野狭窄メガネによる体験コーナー(パターゴルフ、読書など)
患者会員による相談会
眼科専門医による相談会()
()土曜日の午後を予定。当日10時から整理券配布。既に治療中の方など相談をお受けできない場合もあります。詳しくは当日スタッフまでお尋ねください。
参 加 費： 無料
共 催： 緑内障フレンド・ネットワーク・ファイザー株式会社
協 力： 愛知県眼科医会・カールツァイスメディテック株式会社

< イベントや当組織に関するお問い合わせ >

緑内障フレンド・ネットワーク事務局 担当:野田
TEL:03-3272-6971 / FAX:03-3272-6972
Mail: info@gfnet.gr.jp

< 告知・取材に関するお問い合わせ >

株式会社トークス 担当:古家(こいえ)
TEL:03-3261-7715 / 090-7790-9005
FAX:03-3261-7174
Mail: tocs-ntg@pr-tocs.co.jp

会場のご案内

セントラルパーク内「パークスクエア」

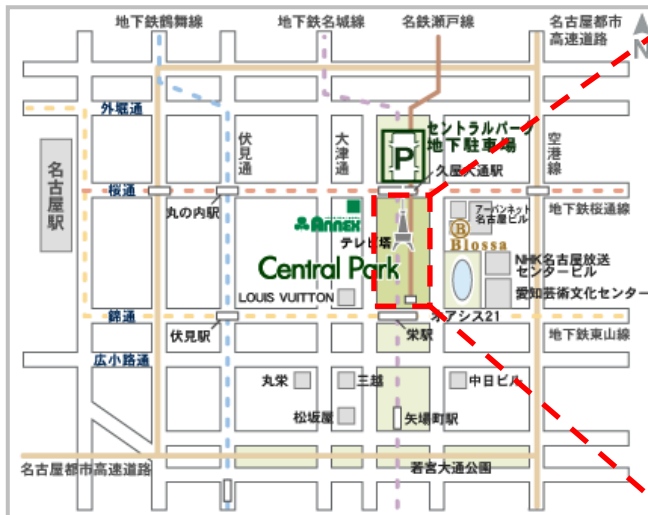
住所 460-0003 名古屋市中区錦 3-15-13 先 TEL 052-961-6111(代表)

< 交通のご案内 >

(北から) 地下鉄名城線・桜通線久屋大通駅 下車直結

(南から) 地下鉄東山線・名城線栄駅 下車直結

名鉄瀬戸線栄町駅 下車直結



<フロアマップ>



緑内障とは

緑内障は眼球内の圧力(眼圧)が上昇すること等により視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症していると言われ、視覚障害(中途失明)の原因の第1位となっています(2006年厚生労働省調査)。特にNTG(Normal Tension Glaucoma:正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていくタイプの緑内障が全体の約7割を占めていると言われています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と推定されており、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。